

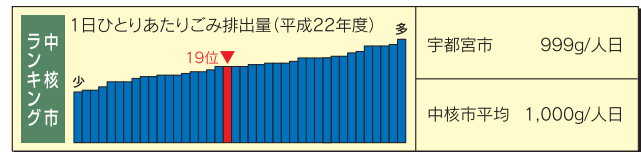
## ごみ・し尿

### 焼却ごみ量は減少傾向 資源化量が増加

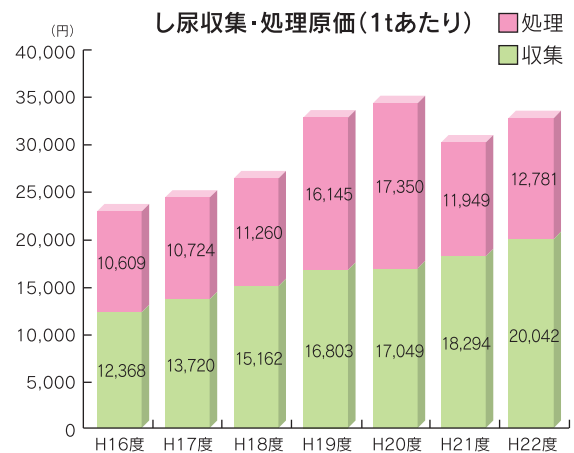
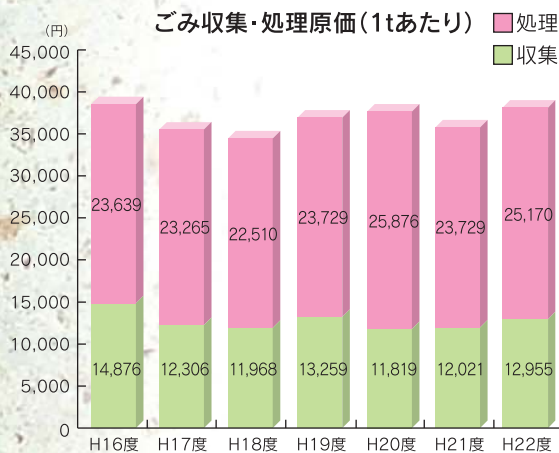
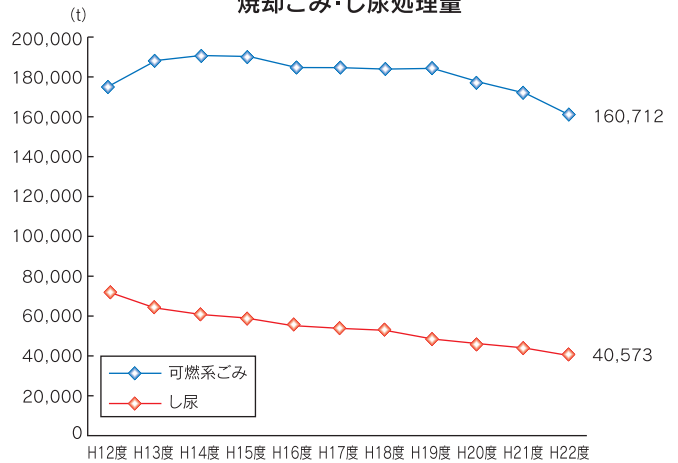
平成22年度の宇都宮市の焼却ごみ量は、160,712tで減少傾向にあります。

し尿処理量は、年々減少しており、平成22年度は40,573tです。

収集・処理にかかる費用の1tあたりの処理原価は、平成22年度でごみが38,125円、し尿が32,823円となっています。



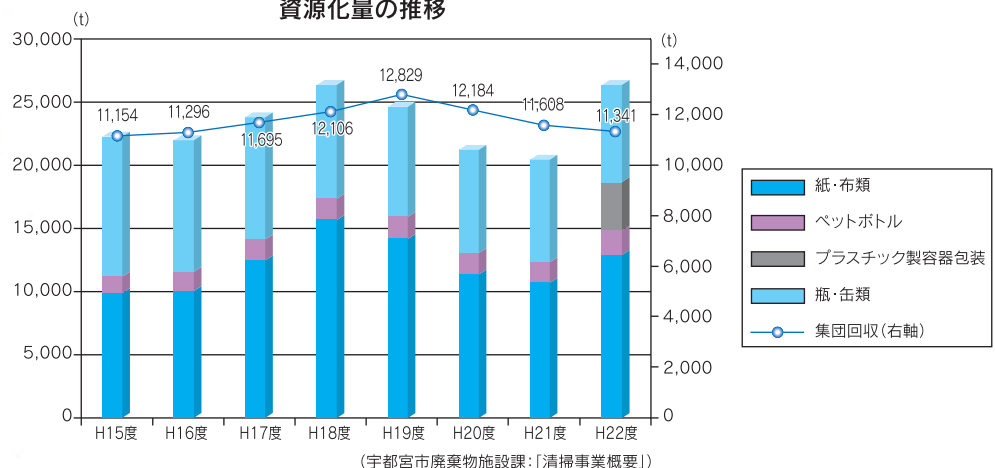
### 焼却ごみ・し尿処理量



資源化量の推移をみると、平成19年以降減少傾向にありましたが、プラスチック容器包装の資源化に伴い、平成22年度に増加に転じました。

一方、集団回収量は、減少に転じています。

### 資源化量の推移

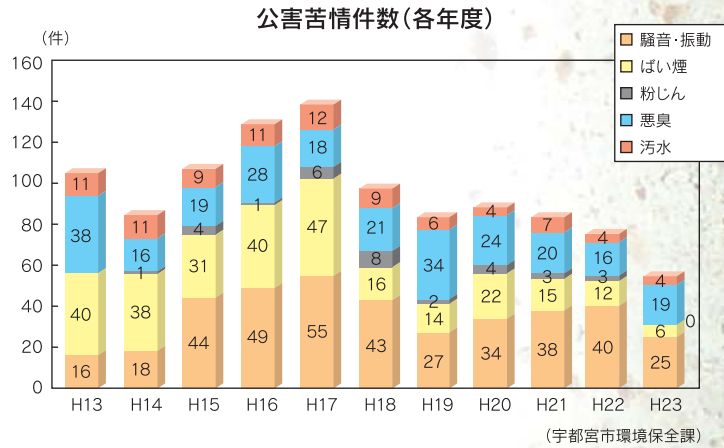


## 公害

### 苦情件数が減少

平成15～17年度にかけて件数が増加しましたが、平成18年度以降は減少し、平成23年度は、54件でした。

平成23年度の内訳は、「騒音・振動」が25件と最も多く、次いで悪臭の19件となっており、総件数の約8割を占めています。



## 二酸化炭素の排出が少ないまちづくり

地球温暖化をはじめとする地球環境問題やエネルギー問題への対策として、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーが注目されています。

このような中、宇都宮市は、地球温暖化対策として、一年を通じ日照時間が長い地域特性を活用できる太陽光発電の普及に取り組んでいます。



### ●太陽光発電の普及に向けて

本市では、太陽光発電システムを平成14年度に平石地区市民センターに設置して以来、松田新田浄水場や南図書館など、合計で10か所の市有施設に導入しています。

また、市民への普及促進策として、平成15年度から住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部補助を実施しており、下のグラフにあるように、平成21年度以降、補助件数が増加しています。

平成23年度末までの補助件数は累計で約4,200件、発電出力の合計は約1万6,000キロワットとなっており、これは1,000キロワット級の大規模な太陽光発電設備であるメガソーラー発電所の16基分にも相当するものです。

このように、本市は、環境にやさしい社会の実現に向け、太陽光発電の普及を積極的に取り組んでいます。



松田新田浄水場

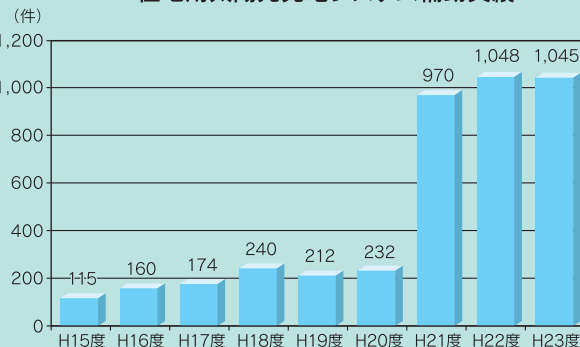
発電規模  
180キロワット



白沢浄水場

発電規模  
100キロワット

住宅用太陽光発電システム補助実績



(宇都宮市環境政策課)